

# HP Operations Orchestration 10.x

Windows および Linux オペレーティングシステム

OO Cloud コンテンツパックバージョン1.5.1

## リリースノート

ドキュメントリリース日: 2015 年5 月(英語版)  
ソフトウェアリリース日: 2015 年5 月(英語版)



## ご注意

### 保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

### 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

### 著作権について

© Copyright 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標について

Adobe™ は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® およびWindows® は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインタフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

## ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<https://softwaresupport.hp.com>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

もしくは、「HP ソフトウェアサポート」ページの一番上にある[新規登録]リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

## サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。<https://softwaresupport.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

**<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>**

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

**<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>**

**HP Software Solutions Now**は、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは

**<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>**です。

# 目次

概要 .....	5
コンテンツパックの統合 .....	5
新機能 .....	6
機能拡張 .....	7
OO Cloud コンテンツパックのデプロイ .....	8
既知の問題 .....	9
制限 .....	10

## 概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration Cloud コンテンツパック 1.5.1 リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれています。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- ja - 日本語

OO Cloud Content Pack 1.5.1 は累積的なコンテンツパックです。

## コンテンツパックの統合

次の表に、Cloud コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合名	バージョン
Amazon EC2	2009-04-04、2011-12-15、2014-06-15
Amazon IAM	2010-05-08
Amazon 負荷分散	2011/11/25、2012/06/01
Amazon S3	2006/03/01
Amazon セキュリティトークンサービス	2011/06/15
Amazon VPC	2011/12/15、2014/06/15
HP Helion Eucalyptus	Amazon 向け OO コンテンツを通じてサポート
OpenStack	Diablo 2011.3 Essex 2012.1 Grizzly 2013.1 Havana 2013.2 Helion Public Cloud 13.5 Helion Openstack 1.0.x IceHouse 2014.1 Juno 2014.2
VMware vCloud	1.0、1.5、5.1、5.1.1、5.5

## 新機能

### • 新たにサポートされるバージョン

次のバージョンが新たにサポートされるようになりました。

- HP Helion Eucalyptus 4.x

### • Amazon Signature Version 4:

- 「/Library/Integrations/Amazon/S3/Utilities/」の下に、新しいオペレーション「**Compute Signature V4**」が追加されました。このオペレーションは Signature Version 4 アルゴリズムをサポートします。ユーザーはこのオペレーションを使用して、署名計算アルゴリズムに必要なすべての入力を指定できます。

- Signature V4 を使用するため、「**Buckets**」および「**Objects**」フォルダー内のフローにある「**Compute Signature**」、「**Process Headers**」、「**Compute Signature**」、および「**Add Authorization Header**」ステップが更新されました。

- **OpenStack オブジェクトストレージ - コンテナの更新:** コンテナを更新する機能が追加されました。これには、バージョン管理の有効化、同期、アイテムの公開などのオペレーションが含まれます。

### • OpenStack ブロックストレージ - ボリュームサイズの拡大/縮小:

「/Library/Integrations/OpenStack/Block Storage/Volumes/」の下に、新しいフロー「**Resize Volume**」が追加されました。このフローでは、ボリューム ID と新しいサイズを使用して、OpenStack ボリュームのサイズを変更できます。

- 「/Library/Integrations/Amazon/S3/Buckets/」の下に、新しいフロー「**Get Bucket Location**」が追加されました。このフローはバケットの場所の制約を特定するのに使用します。
- **Eucalyptus:** Eucalyptus API が Amazon に対応するようになりました。AWS.00 00TB に、AWS リソースをプロビジョニングするためのフローが含まれています。

## 機能拡張

- Signature V4 を使用するため、「/Library/Integrations/Amazon/S3/Objects/Compute Signature/Objects」の下のフローにある「**Compute Signature**」、「**Process Headers**」、および「**Add Authorization Header**」ステップが更新されました。
- 「/Library/Integrations/Amazon/S3/Objects/」の下の「**Multipart File Upload**」フローがチャンクアップロードをサポートするように機能拡張されました。また、このアップロード方法を実現するために、Signature V4 アルゴリズムで必要になるすべてのステップが更新されました。
- 「/Library/Integrations/Amazon/EC2/Availability Zones and Regions/」の下の「**Enumerate Regions**」オペレーションに、新しい入力 **serviceEndpoint** が追加されました。この入力を使用すると、「**Enumerate Regions**」オペレーションに対して特定のエンドポイントを提供できます。
- Amazon の EC2-VPC 機能の一部である非デフォルト VPC でセキュリティグループをサポートするため、「**Security Groups**」フォルダーのオペレーションが機能強化されました。すべてのオペレーションが、このタイプのセキュリティグループを参照するのに必要なセキュリティグループ ID をサポートします。
- 「/Library/Integrations/Amazon/EC2/Security Groups/」の下の「**Create Security Group**」オペレーションに、新しい入力 **vpclid** が追加されました。
- 「/Library/Integrations/Amazon/EC2/Security Groups/」の下の「**Describe Security Groups**」オペレーションで、出力 **returnResult** のテーブルに新しい **group id** および **group's vpc id** 列が追加されました。
- Amazon API に合わせて、「/Library/Integrations/Amazon/EC2/Instances/」の下の「**Modify Instance Attribute**」オペレーションに、16 個の新しい入力が追加されました。

# 00 Cloud コンテンツパックのデプロイ

00 プラットフォームバージョン 10.00 以降が、Cloud コンテンツパック 1.5.1 をサポートしています。ただし、Cloud コンテンツパック 1.5.1 は、既存の 00 プラットフォームバージョン 10.21.0001 またはそれ以降にデプロイすることを推奨します。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

**注:** Cloud コンテンツパック 1.5.1 は、Base コンテンツパック 1.5.3 に依存します。そのため、Cloud コンテンツパック 1.5.1 の前に(または一緒に)、Base コンテンツパック 1.5.3 をデプロイする必要があります。

**注:** コンテンツパックのアンインストール/ロールバックの方法については、『HP 00 Central ユーザーガイド』の「前回のデプロイメントへのロールバック」を参照してください。



## 既知の問題

既知の問題の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

### Amazon に追加された新しいオペレーションとサンプルが翻訳されていない

Cloud コンテンツパックに追加された次のオペレーションは、まだローカライズされていません。

- Library/Integrations/Amazon/EC2/Elastic Block Store/Volumes/Describe Volume Attribute.xml
- Library/Integrations/Amazon/EC2/Elastic Block Store/Volumes/Describe Volume Status.xml
- Library/Integrations/Amazon/EC2/Elastic Block Store/Volumes/Enable Volume IO.xml
- Library/Integrations/Amazon/EC2/Elastic Block Store/Volumes/Modify Volume Attribute.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Internet Gateways/Attach Internet Gateway.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Internet Gateways/Create Internet Gateway.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Internet Gateways/Delete Internet Gateway.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Internet Gateways/Describe Internet Gateways.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Internet Gateways/Detach Internet Gateway.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Route Tables/Associate Route Table.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Route Tables/Create Route Table.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Route Tables/Create Route.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Route Tables/Delete Route Table.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Route Tables/Delete Route.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Route Tables/Describe Route Tables.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Route Tables/Disassociate Route Table.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Route Tables/Replace Route Table Association.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Route Tables/Replace Route.xml
- Library/Integrations/Amazon/VPC/Samples/EC2-VPC Workflow.xml

### 移動された JSON オペレーションと「Remove empty elements」の翻訳の更新

日本語の翻訳では、「/OpenStack/Utilities」の下にあった「Remove empty elements」オペレーションが新しいパスに更新されていません。現在、このオペレーションは Base コンテンツパックの「/Utility operations/Containers/JSON」の下にあります。

### 「OpenStack REST Get」オペレーションで、ローカライズされた文字に対してエンコードエラーが発生する

Get IPSec Policy Details: 「/Library/Integrations/OpenStack/Networking/VPN/IPSec Policies/Get IPSec Policy Details.xml」の最初のステップ「OpenStack REST Get」でも、同じエラーが発生します。

## 制限

### **Get Bucket Content**

「/Library/Integrations/Amazon/S3/Buckets/」の下の「**Get Bucket Content**」フローで、入力 **marker** および **prefix** の値に次の文字を含めることはできません: '&';/'

### **Delete Object**

「/Library/Integrations/Amazon/S3/Objects/」の下の「**Delete Object**」フローが、名前に '~' または '&' の文字を含むオブジェクトを処理する際に正しく動作しない場合があります。

### **Upload Folder**

「/Library/Integrations/Amazon/S3/Objects/」の下の「**Upload Folder**」フローが、名前に ';' (コンマ) の文字を含むオブジェクトを処理する際に正しく動作しない場合があります。

